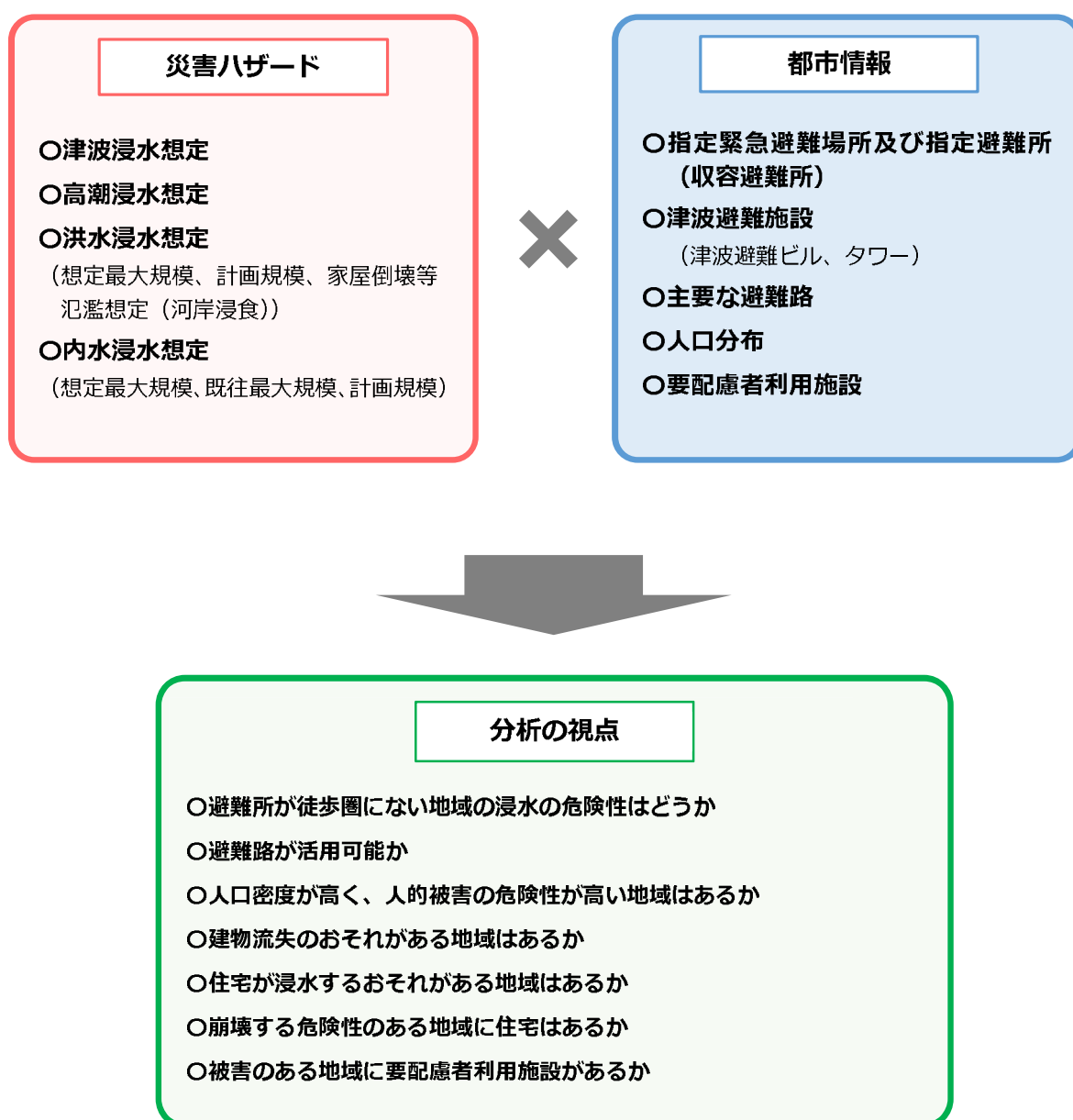


5-4 災害リスクの分析

1) ハザード情報の重ね合わせによるリスク分析

本項においては災害ハザードと都市情報を重ね合わせて分析を行うことで都市の問題点や課題の抽出を行います。

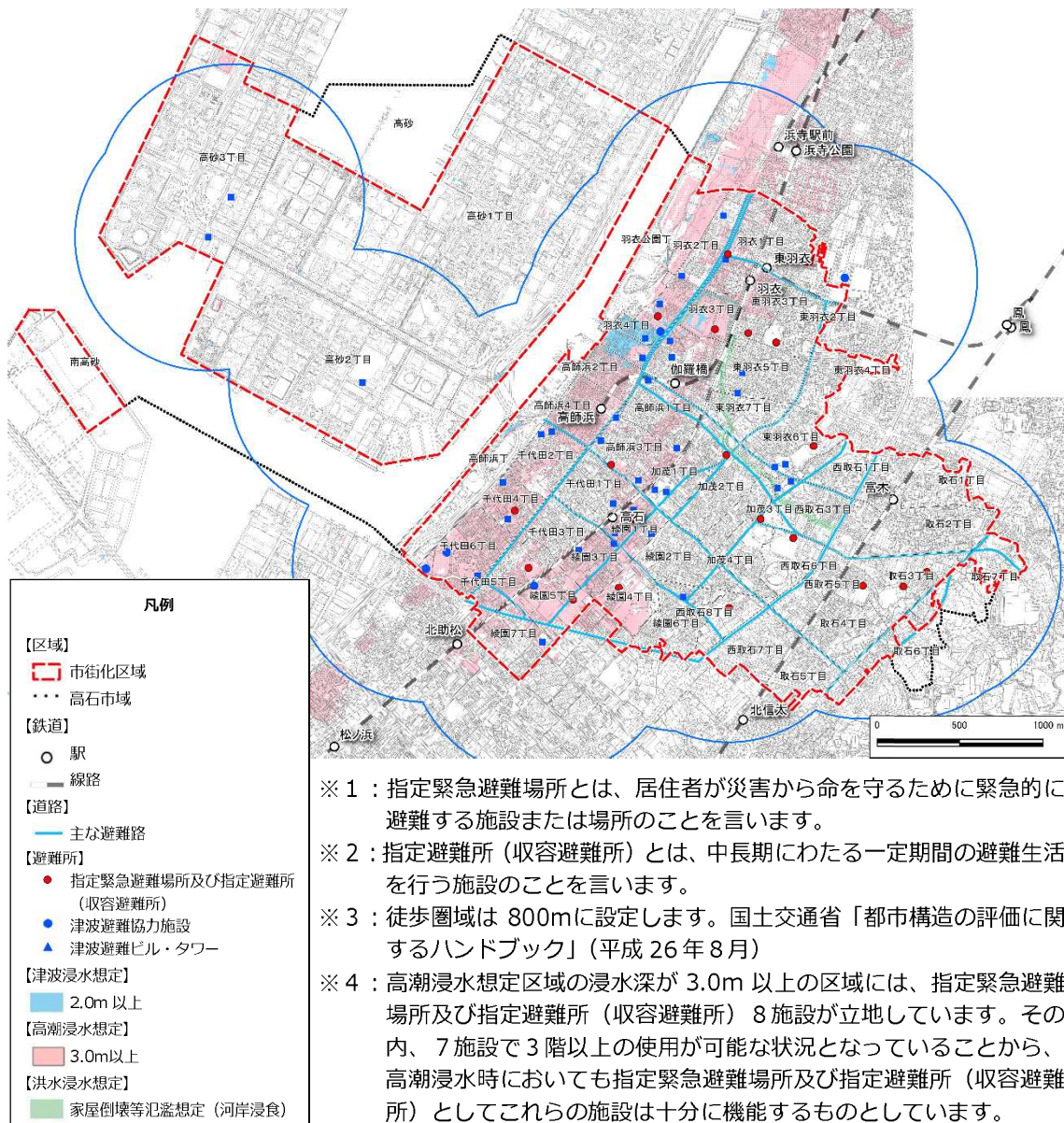


(1) 災害ハザード × 指定緊急避難場所及び指定避難所（収容避難所）・避難路

本市は指定緊急避難場所※¹及び指定避難所（収容避難所）※²が 19 箇所、津波避難協力施設が 4 箇所、津波避難ビル・タワーが 39 箇所指定されています。指定緊急避難場所及び指定避難所（収容避難所）は津波、高潮、洪水、内水の発災時に、津波避難協力施設、津波避難ビル・タワーは津波の発災時に利用されることが想定されています。

指定緊急避難場所及び指定避難所（収容避難所）は、徒歩圏域※³で内陸部の市域をカバーしており、避難所・避難路等の機能は、一部で見られる防災物資の備蓄の不足を除き、一定程度充足している※⁴ことが分かります。また、市内の幹線道路を中心に東西南北方向に避難路が整備されており、避難所までの避難ルートとして活用可能な状況にあります。

災害ハザード × 指定緊急避難場所及び指定避難所（収容避難所）・避難路



(2) 津波浸水想定 × 人口分布

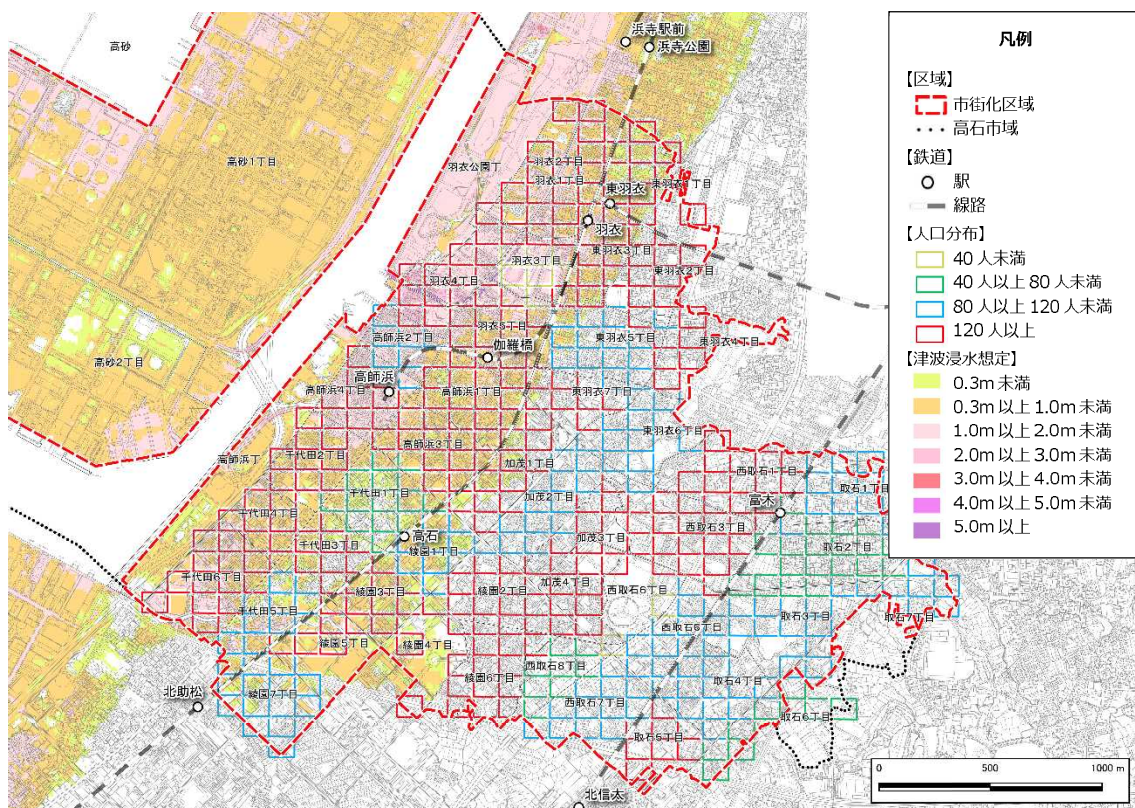
高潮浸水想定 × 人口分布

洪水浸水想定（計画規模）・内水浸水想定（既往最大規模） × 人口分布

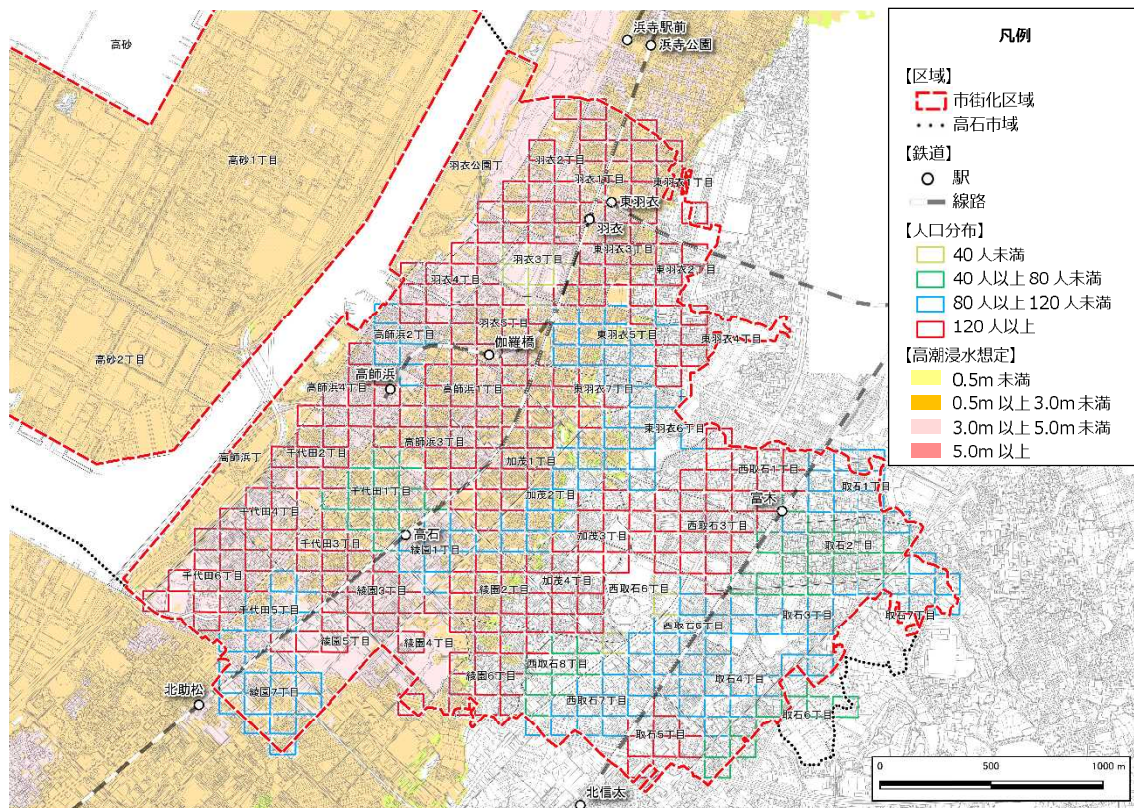
津波浸水想定区域や高潮浸水想定区域のうち、内陸沿岸部で人口密度が 120 人/ha を超えているエリアが多くみられます。

洪水浸水想定区域で浸水深が 0.5mを超えている区域のうち、加茂 3 丁目や西取石 3 丁目は、人口密度が 120 人/ha を超えています。

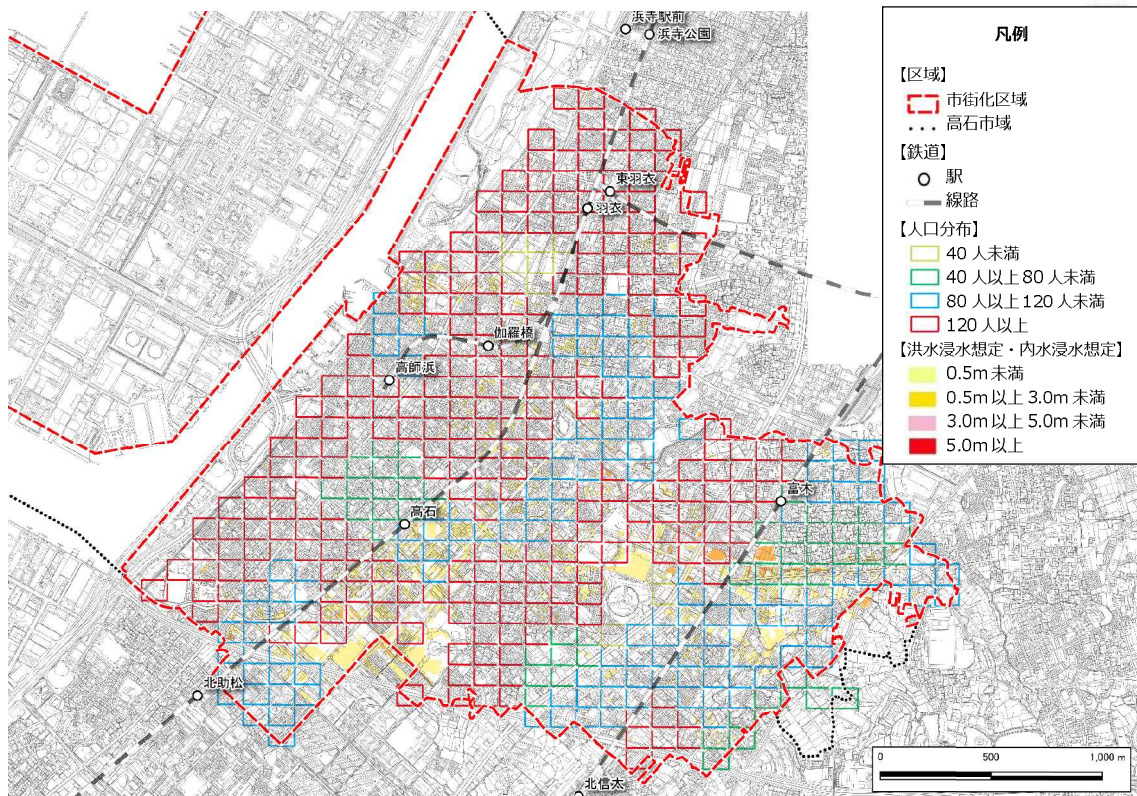
津波浸水想定 × 人口分布



高潮浸水想定 × 人口分布



洪水浸水想定（計画規模）・内水浸水想定（既往最大規模） × 人口分布



(3) 津波浸水想定 × 要配慮者利用施設

高潮浸水想定 × 要配慮者利用施設

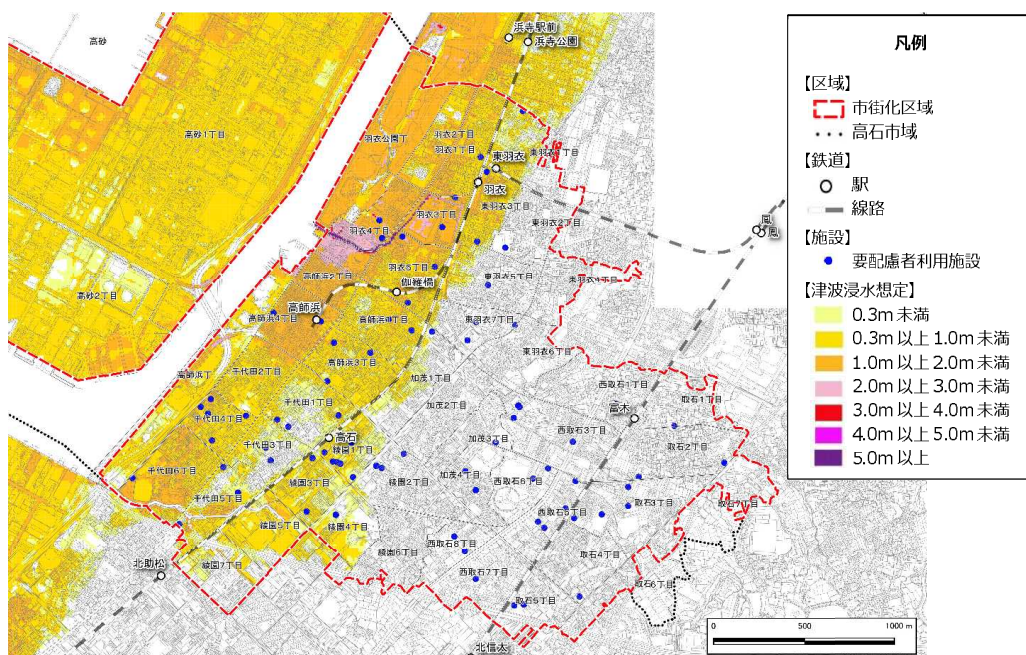
洪水浸水想定（計画規模）・内水浸水想定（既往最大規模） × 要配慮者利用施設

家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食） × 要配慮者利用施設

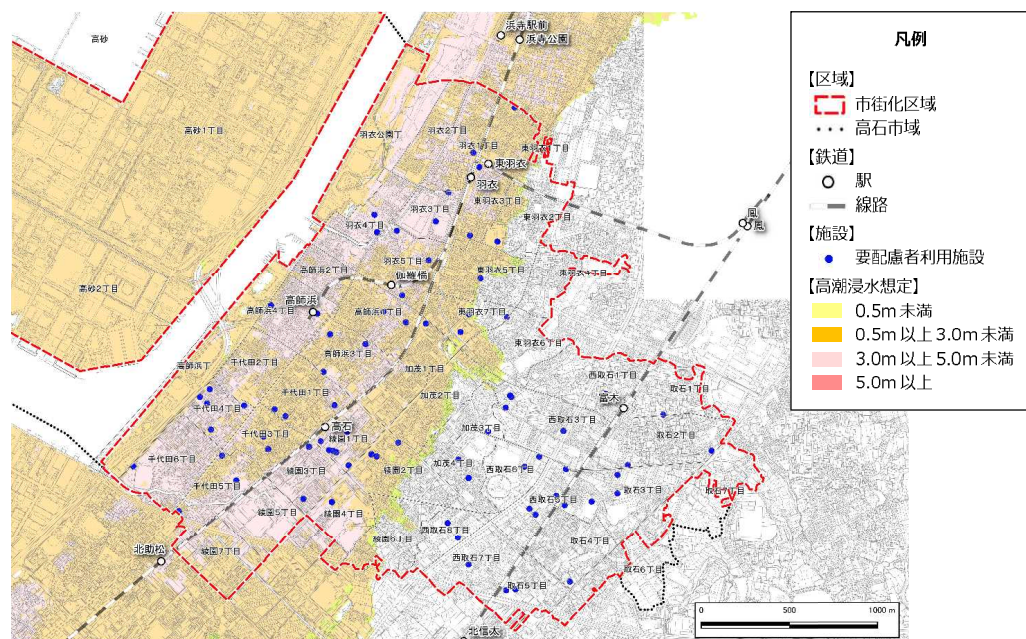
津波浸水想定区域や高潮浸水想定区域には多くの要配慮者利用施設がみられます。

洪水浸水想定区域（計画規模）・内水浸水想定区域（既往最大規模）の浸水深が 0.5m を超える区域や河岸侵食による家屋倒壊のおそれがある区域及び近隣には、要配慮者利用施設の立地がみられます。

津波浸水想定 × 要配慮者利用施設

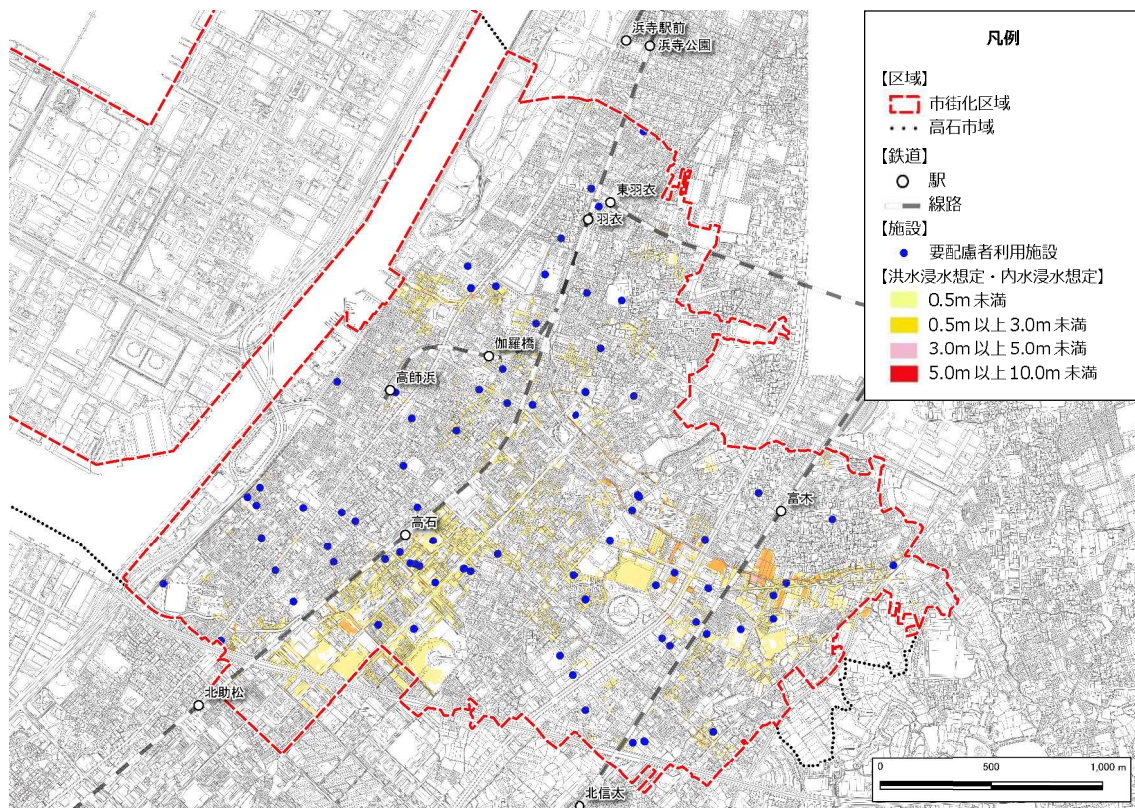


高潮浸水想定 × 要配慮者利用施設

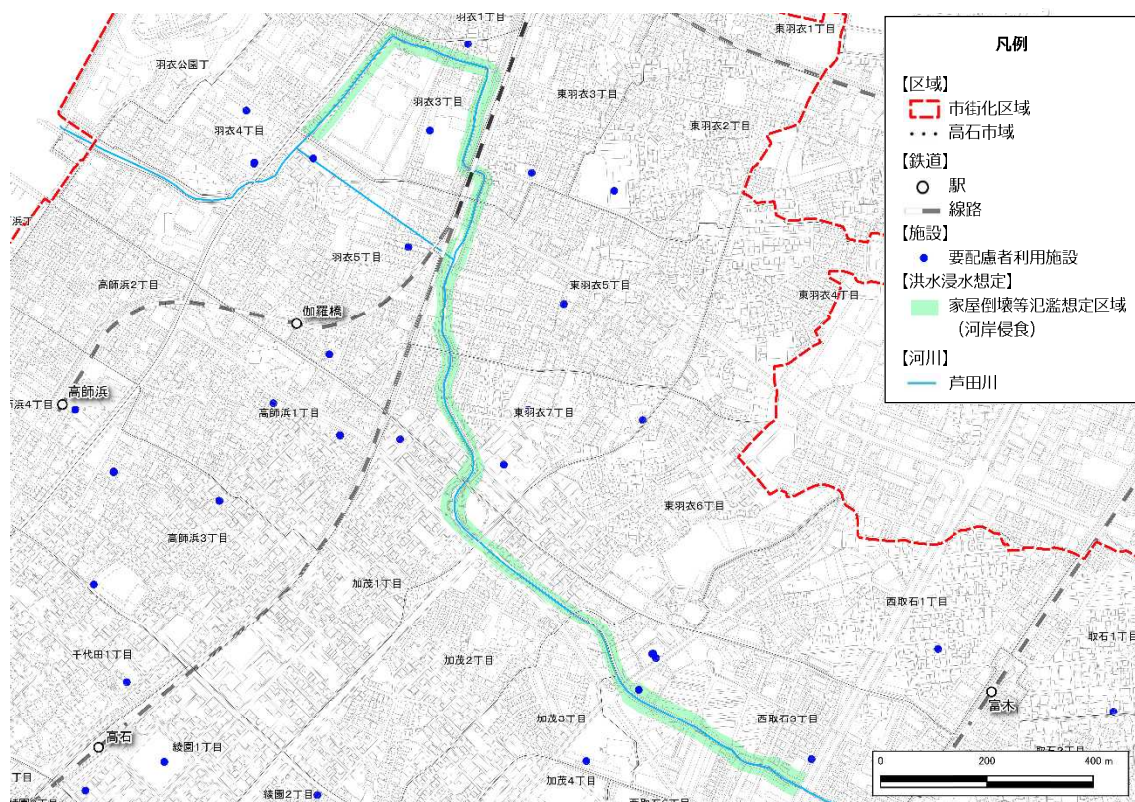


5-1
防災
指針5-2
水害の
基準5-3
ハザード
の整理5-4
リスク
の分析5-5
課題の
抽出5-6
取組
方針5-7
取組
施策

洪水浸水想定（計画規模）・内水浸水想定（既往最大降雨） × 要配慮者利用施設



家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食） × 要配慮者利用施設



5 - 5 防災上の課題の抽出

災害リスクの状況、分析を踏まえ、防災上の課題を以下の通り設定します。

課題① 内陸沿岸部は人口密度が高く、津波・高潮の浸水被害が大きい

課題② 津波・高潮の浸水想定区域に要配慮者利用施設の立地がみられる

課題③ 芦田川沿いの河岸侵食のおそれがある区域に住宅の立地がみられる

課題④ 高潮浸水により、3日以上孤立する区域が一部でみられる

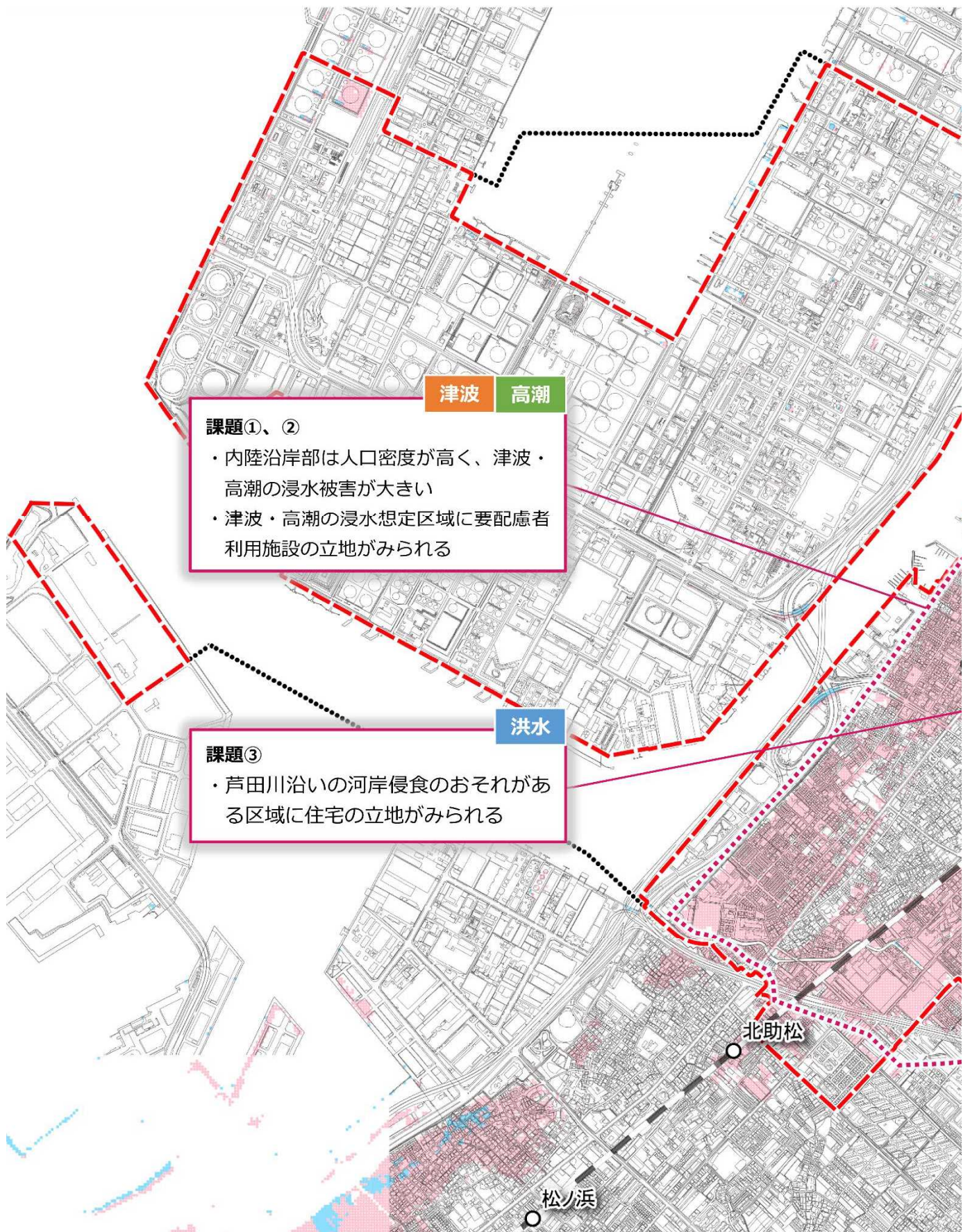
課題⑤ 内陸沿岸部で、高潮浸水により、建物の2階以上の床上浸水が想定される区域がみられる

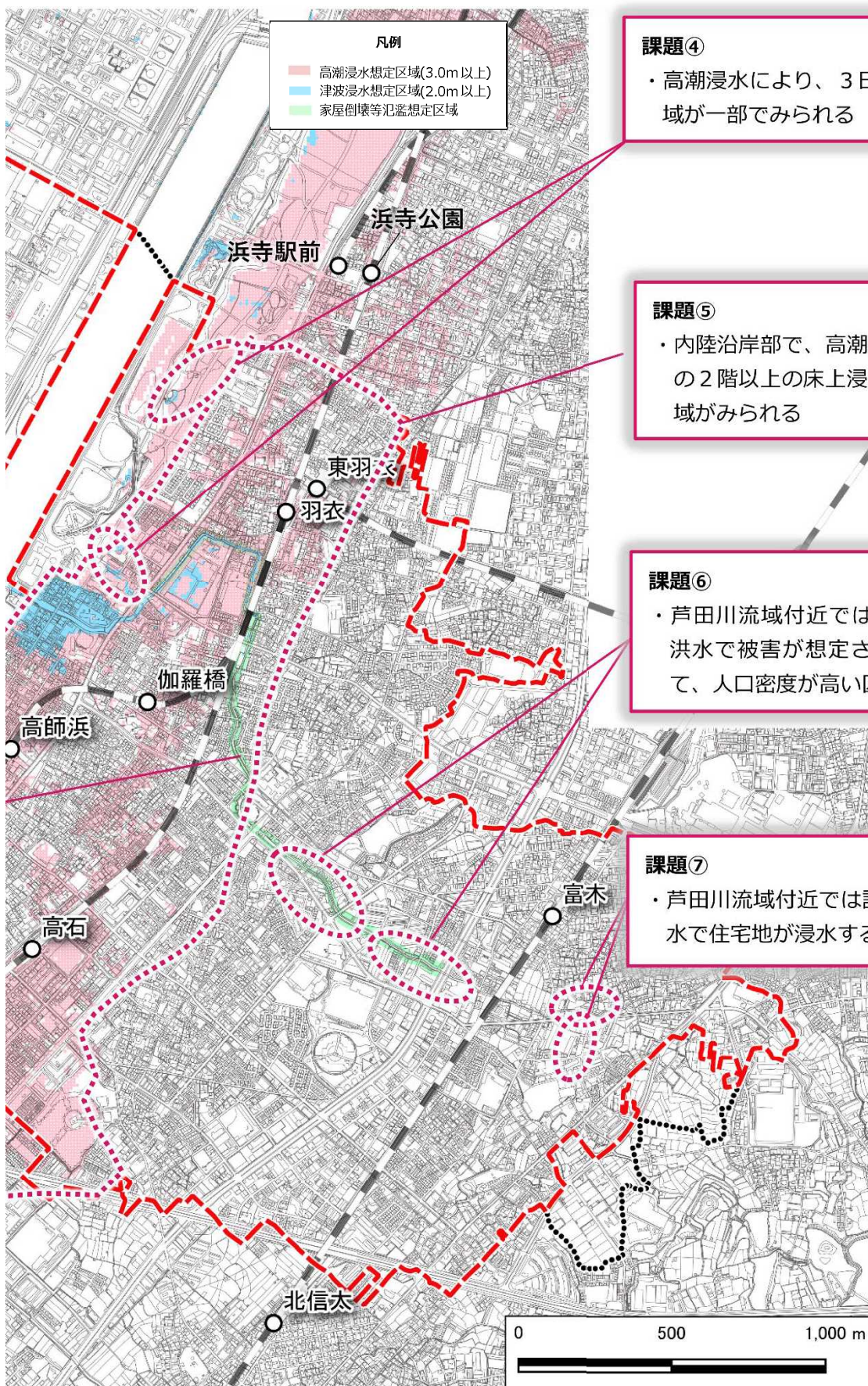
課題⑥ 芦田川流域付近では計画規模降雨の洪水で被害が想定される区域において、人口密度が高い区域がみられる

課題⑦ 芦田川流域付近では計画規模降雨の内水で住宅地が浸水するおそれがある

5-1
防災
指針5-2
水害の
基準5-3
ハザード
の整理5-4
リスク
の分析5-5
課題の
抽出5-6
取組
方針5-7
取組
施策

■ 課題図





高潮

高潮

洪水

内水